

NPO 法人

# 全日本語りネットワーク

〒376-0045 群馬県桐生市末広町 11-1 JR 桐生駅構内  
桐生市民活動推進センター

(Fax) 0277-47-4066 (振替) 00130 - 2 - 114808

(E-mail) welcome@japankatarinet.jp

(HP) http://japankatarinet.jp/

## ニュース

## 「第 11 回全日本語りの祭り in 倉敷」を終えて

岡山実行委員会事務局長 井上晴正

みやぎの萩が咲き乱れる芸文館で、「第 11 回全日本語りの祭り in 倉敷」が盛大に開催されました。今振り返ってみると、全国各地から集まってくださった語り部の姿がキラリ、キラリと浮かんできます。この度の大会は岡山桃太郎部隊のフットワークが弱いこともあり、本部から井上理事長をはじめ役員さんの全面的な支援をいただきました。ありがとうございました。開会式が始まる前の受け付けの順調な流れを見て、大会の成功を確信しました。私たちは「おもてなしの心」で皆さんを倉敷にお迎えしました。

交歓交流会、岡山は理屈家の言いの多いところですが、住宅さんのちくわ笛や民謡は面白かったです。夜語りの席はぎっしりで、気がつけば語り部の席に座っていました。大間知キヌさんの「きつねの嫁入り」、井上雅美さんの「お天道さまにとどいた豆」など関東色の濃い話を聴きました。

2 日目、マスカットの部屋では、杉村史朗さんが「ゆきおんな」を情景豊かに、中辻明さんは旭川の「パヨカカムイ〜ユカラで村をすくったアイヌのはなし」を情感こめて話されました。感激して後姿を追ったのですが、迷路で見失ってしまいました。

日本各地から参加された語り部の話はまことに地方色豊かで、しかも現代をテーマにした話や全国的に知られた話など、多彩な話が盛り込まれた語りの祭典となりました。数多くの話が重複しなかったのは、本部、末吉さん達の力でしょう。

2 日目の夕方、美観地区の一角でささやかな打ち上げ会。本部と岡山が向き合って、率直でしかも有意義な話ことができました。個性豊かな本部と膝を接して思ったのは、日本の広さです。

私たちは全日本の大会に表や裏口から参加させていただき、大会にじかに触れることができました。おかげで自分たちの活動の足元や、目指すところがはっきり見えてきたように思います。また、大勢の桃太郎が大会に参加させてもらい、力をつけ

ました。貴重な財宝を手に入れて私たちは古里にむかいます。

